



東俣野 5月号

東俣野小学校 学校だより

令和4年4月28日

「分からない」は恥ずかしくない

副校長 中山 純子

本年度より副校長として赴任しました中山純子です。どうぞよろしくお願いいたします。
3月までは、旭区さちが丘小学校で6年担任でした。4月から新たに副校長として東俣野小学校に赴任し、無我夢中で過ごした1か月でした。

仕事をしていると当然、「分からない」ことがたくさん出てきます。とっさに人に聞こうかどうしようか迷います。勉強不足の自分をみんなにさらけ出すような気分にもなります。できない自分のことを情けなく思うこともあります。「こんなことも知らないの?」と思われることが恥ずかしく、正直に「分からない」と言おうかどうか迷います。

でも、私は勇気を出して「分からないから教えて。」と周りの方々に声をかけ、教えてもらっています。「誰でも知らないことがあって当たり前。何でも完璧に知っている人なんて一人もいないはず。」と自分自身に言い聞かせ、いろいろな人に声をかけています。知らないことは、恥ずかしいことではないのです。

では、本当に恥ずかしいことは何か、それは、「分からない、知らない」と人に言えないこと、そして知ろうとしないことが恥ずかしいのです。自分の知らないことを教えてもらい、知識を増やしていくと自分自身が豊かになります。積極的に知りたい、学びたいと思うことで自分自身も成長します。自分が得た知識を今度は人に伝えるとさらにその学びは深まります。

教室でも同じです。「分からない」ことを「知りたい」と思うこと、そしてそれを声に出して言うことは決して恥ずかしいことではなく、とても大切なことなのです。「分からない」ことが出てきた時、それは自分自身が成長する大きなチャンスです。